

静岡県板 ニュース

発行所 静岡県板金工業組合

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠2-18-7
(榎田ビル2F)

TEL. 054-252-2418

FAX. 054-252-2430

発行人 井上博幸

第48回通常総代会の開催

平成二十四年度の通常総代会は、五月二十四日静岡市内のクイールホテルにおいて開催された。総代会には、代議員、役員、支部長、青年部員並びに来賓、七十六名の出席のもと、十三時に金原副理事長の開会の辞に始まり、熱心かつ真剣な審議がなされた。



会議の冒頭、井上理事長が挨拶に立ち、東日本大震災の本格的復興や依然として続く厳しい経済状況の中、組合員が一致団結して難局を乗り切ろうと訴えた。続いて、議事の審議に入り議長に、角川則久氏(中遠支部)、金田克比呂氏(浜松支部)が選任さ

れた。提案された第一号議案(二十三年度事業報告)については、松浦副理事長が説明され、続いて第二号議案(二十三年度会計決算関係)は、伏見会計理事、中村会計理事、竹村会計理事から説明がされ、また、中山監事から監査報告がなされ承認された。

次に第三号議案(賦課金の増額の件)については、井上理事長から現在の厳しい収支の状況が説明され、値上げについて理解して欲しい旨要請があった。質疑応答の上挙手による採決が行われ、賛成多数で承認された。第四号議案(二十四年度事業計画案)については、井上理事長が説明し、第五号議案(二十四年度予算案)については、伏見会計理事が説明して承認された。最後に第六号議案(借入金最高限度額及び取引金融機関の決定)を井上理事長が説明し、承認された。十四時四十分には全ての審議が終了し、林副理事長が閉会の言葉を述べた。

この後、懇親会が開催され来賓の協力店等の皆さんを交え、昨今の経済

総代会あいさつ

情勢や業界情報が熱心に語られていた。

理事長 井上博幸



本日、ここに第四十八回通常総代会を開催いたしましたところ、総代を始め、各役員、青年部等、多くの組合員の出席をいただき盛大に開催できましたことを感謝いたします。また、ご多忙のところご臨席を賜りました、ご来賓の皆様方には心からお礼を申し上げます。さて、我が国の最大の課題である、東日本大震災への本格的復興は、瓦礫処理すら、まもなく状態が、なかなか軌道に乗ってきません。建設業界に身を置く者として、何とかならないものかと、被災地へ熱い思いを馳せているところです。

いずれにしても、復旧、復興には相当の年月を要

するので、日本全体が一丸となって息の長い取組みを行うことが求められており、我々業界も復興への重要な役割を担うと、強い信念を持って臨むことが必要であると考えます。

こうした中、建築板金業界は、依然として受注の減少や資材価格の高騰、施工単価の低落、更には高齢化と後継者不足など、厳しい状況が続いています。こうした時こそ、長年に亘り培われた組合員相互の連携、協調、団結を一層強固なものとしてこの時勢に対処していく必要があると思います。業界では、今後の動向について地震や台風等の自然災害での金属屋根の強靭さが実証、見直され、住宅リフォーム等での需要増加が見込まれることや太陽光発電の普及も本格化すること等により、建設専門工事業の中で発展、活性化が期待できる職種の一つであると言われています。

このためには、自分を取り巻く業界や社会情勢の変化にも敏感になり、その変化に対応できる技術、技能の習得に努め、更には、仕事を取るための積極的な営業活動や経営の在り方の議論も行う

など、今までは違う意識で行動に移していくことが求められると思います。

また、重要な課題として、後継者の育成確保の問題があります。今後の組合や業界を担ってもらう青年部に対して、親組合として連携、支援を強化していく必要があると思いますので、各支部におかれても、青年部活動への理解、協力を宜しくお願いを申し上げます。結びに当たりまして、現在、我々業界を取り巻く環境は一段と厳しい状況にありますが、今こそ組合員が相互に励ましあい、組織力を結集してこの苦難の時期を乗り越えようではありませんか。そして、ご臨席のご来賓の皆様には、これまでにまして、ご理解とご協力をお願い申し上げますが、私の挨拶と致します。

県板功労表彰

通常総代会において、多年にわたり静岡県板金工業組合の事業活動に熱心に取組まれ、組合発展に尽力された次の十一名の皆さんに、井上理事長から表彰状と記念品が授与された。



- | 支部名 | 氏名 |
|-------|-------|
| 伊豆支部 | 重杉 忠一 |
| 三島支部 | 塩川 博照 |
| 御殿場支部 | 杉山 元良 |
| 富士支部 | 桑原 博 |
| 清水支部 | 木全 清次 |
| 同 | 山本 英男 |
| 焼津支部 | 山田 和弘 |
| 榛南支部 | 久保 佳通 |
| 小笠支部 | 赤堀 由男 |
| 同 | 赤堀 満 |
| 浜松支部 | 金子 善信 |
- (敬称略)

県板団体保険感謝状

多年にわたり団体保険に加入いただき、組合の共済事業への協力に感謝し、次の三名の皆さんに井上理事長から感謝状と記念品が授与された。

- | 支部名 | 氏名 |
|------|-------|
| 清水支部 | 山崎 正信 |
| 焼津支部 | 山田 忠 |
| 浜松支部 | 向山順次郎 |
- (敬称略)

平成23年度収支決算書

自 平成23年 4月1日
至 平成24年 3月31日

(単位:円)

Table with columns: 支出の部 (Budget, Actual), 収入の部 (Budget, Actual). Rows include 事業費, 一般管理費, 賦課金収入, 事業収入, 事業外収入.

平成24年度収支予算書

自 平成24年 4月1日
至 平成25年 3月31日

(単位:円)

Table with columns: 支出の部 (This year, Previous year), 収入の部 (This year, Previous year). Rows include 事業費, 一般管理費, 賦課金収入, 事業収入, 事業外収入.

*各科目間の流用を認める。

財産目録

24. 3. 31現在

Table with columns: 摘要, 金額 (円). Rows include 流動資産 (現金, 普通預金, etc.), 固定資産 (什器備品, 敷金, etc.), 負債の部 (預り金), 正味資産の部.

貸借対照表

24. 3. 31現在

Table with columns: 資産の部 (科目, 金額), 負債及び資本の部 (科目, 金額). Rows include 現金・預金, 什器備品, 外部出資金, 敷金, 預り金, 積立金, etc.

利益処分(案)計算書

当期利益金 7,283円
繰越利益剰余金 2,009,832円
合計利益 2,017,115円
これを次のとおり処理する。
次期繰越金 2,017,115円
以上のとおり報告します。

平成24年 4月11日
静岡県板金工業組合
理事長 井上 博幸 印
会計理事 伏見 一雄 印
同 中村 敏一 印
同 竹村 勝年 印

以上の各項につき監査の結果、適正なものと認めます。

平成24年 4月11日
監事 志村 正勝 印
同 野尻 勝美 印
同 中山 正健 印

プレステージ

TEL 054-643-3622
FAX 054-643-5007

長尺板金成型加工・屋根・壁
各種建築資材販売・建築板金機械工具
電動工具・IA-工具販売
住まい造りのおてつだい
萩原スチール株式会社
お気軽にお問合せ下さい
本社 焼津市焼津1-5-6(焼津郵便局前)
TEL 054-627-0138
板金加工センター(アステラス製薬南側)
TEL 054-629-4700

やね屋の太陽光発電! やってます!!
株式会社 植松
本社 沼津市西沢田200-1 TEL 055-922-1555
沼津営業所 沼津市西沢田200-1 TEL 055-922-1555
御殿場営業所 御殿場市清後545-1 TEL 0550-83-6760
伊東営業所 伊東市宇佐美稲田1111 TEL 0557-47-1363
富士営業所 富士市松岡寺新田413-5 TEL 0545-62-0233
製造部 沼津市西沢田200-1 TEL 055-922-1004
建販部 沼津市西沢田200-1 TEL 055-922-1555

あんしん財団は、中小企業の皆さまを
サポートしています!



あんしん財団

http://www.anshin-zaidan.or.jp

静岡支局 ☎ 0120-311-816

KMEW

モダンな外観に映える、
スパンドレル調デザイン。
スマートスパン柄
シャープなラインが魅力のスマートスパン柄が、新登場。
フッ素焼付塗装が施工時の美しさが長持ちします。



ケイミュー株式会社 静岡営業所 〒420-0803 静岡市葵区千代田7-10-30 TEL.054-261-0338



鉄板用ビスの御用は

ドリルビス・コースレッド・ALCドライブ・ルーフトルト・各種
お客様のニーズにお応えします

株式会社 静岡ねじ

静岡市駿河区中吉田13番6号
電話 054-263-8756 FAX 054-263-8783

全板連山梨大会90名参加



全板山梨大会に 参加して

常任理事 松下隆満

第六十四回全国建築板金業者大会が、五月十七日(木)甲府市「アイメツセ山梨」で開催され、全国から約三千名の同業者が参加し、本県からは九十名が三台のバスに分乗して参加した。

大会では、「全板連グループの組織力を結集し、魅力と希望に満ちた板金業の未来を！」テーマに、目標として「災害復興のための支援の継続」、「責任施工制度で信頼される業界を築く」、「適正な施工価格で安定した経営環境を築く」、「太陽光発電を我々の仕事として認識・確立」などが力強く宣言された。

五月十六日、十七日の一泊二日で全国板金工業組合連合会第六十四回山梨大会に静岡県板金工業組合として、東部地区から二十九名、中部地区から三十六名、西部地区から二十四名及び事務局から一名の計九十名で参加してまいりました。

各地区から貸し切りバス一号車、二号車、三号車の三台で集合場所の身延山久遠寺に向けて朝早くから出発して各支部の組合員を集めながら向かいました。

初日は、三台が揃ったところで久遠寺の参拝をして武井坊で昼食をとり、途中二箇所ばかり見学して、十六日の宿、石和温泉に向かいました。到着してから各自割り

当ての部屋でくつろいでから温泉につきり、旅の疲れをとり、メインイベントの宴会、宴会の前に、理事長などの挨拶を聞き乾杯、そこから参加者楽しみの宴会が始まり、カラオケやクイズ等で景品をもらい、楽しんで滞りなく終宴となりました。



ちでいっぱいです。これからも組合に少しでも役に立つように精進していきます。ありがとうございます。大会が終了してからは、私にとっては心に残るサクランボ狩り、きみまる茶屋などを見学しながら、河口湖で解散式をして各地に向け帰路につきました。

WAZAチャレンジ教室

小笠支部長 牧野久男

五月十日、恒例となっている(ワザ教室)が、今年度も小笠岳洋中学校でありました。



当日、受付には、板金・塗装看板・調理師・洋裁・表具・タイル・造園の七種類の職の指導者が集まり、十三時から十五時まで生徒たちの指導に当たりました。

板金では、銅板のヘラ出しを担当し、生徒二十名と先生一名の二十一名を五人で指導しました。生徒たちの中には、私たちよりも上手な出来栄の生徒もいました。

技能競技大会の開催

今年度の技能競技大会は、十月七日(日)にポリテクセンター静岡で開催される。課題作品については、Aコースは「ちりとり」で昨年と同じ、B

コースは、昨年の全国競技大会の「口付きバケツ」に変更することとなった。競技大会参加者を対象にした事前講習会は、九月二日(日)ポリテクセンター静岡で実施される。入賞者は県知事等から

表彰され、またBコース優勝者は、二十五年二月に開催の全国大会へ出場することとなる。技術検定委員会では、多数の後継者や従業員が参加し技能を競うことがレベルアップに繋がると期待している。

事務局の人事異動

本組合事務局局長の二俣武昌氏は、体調が優れず、業務にも支障が生ずるとして、六月三十日を以って退職されました。組合運営の大変難しい時期に、二年九か月に亘り事業活動の円滑な推進にご尽力され感謝いたします。

後任には、七月一日付で、杉山峯男氏が就任されました。

なお、七月十三日には、役員有志による「歓送迎会」がクールホール会館で開催されました。

退職のあいさつ

二俣武昌

このたびは、誠に残念ですが、本年一月頃から体調不良に陥り、回復が難しい状況になっておりますので、六月末日を以って退職いたしました。

在職期間は、二年九か月と短い期間でしたが、多岐にわたる事業の推進

について、組合員皆様のご指導、ご協力により大過なく処理できましたことを心より感謝申し上げます。

また、板金組合は私にとって四十八年間働いた最後の職場となりますので、井上理事長をはじめ、ご厚情いただいた多くの皆さんのとの出合いは、大切な良い思い出になると思います。

就任のあいさつ

杉山峯男

このたび二俣武昌事務局長の後任のお話をいただき、七月一日から当板金工業組合にお世話になることとなりました。

経済環境が、引き続き厳しい中、本組合の経営も大変厳しい状況下にあるとの引継ぎを受けましたが、これまで前局長が培われた実績、成果を汚さないよう、また、事務局として円滑な組合運営に資するよう努めてまいります。

組合員の皆様方には、前局長と同様に、ご指導、ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

七月五日の実技試験本番には、全員が努力の成果を遺憾なく発揮して、良い結果が得られることを期待する。

指導に当たった六名の技術検定委員からは、受講者の真面目な態度、熱心さを評価する声が多く、緊張感溢れる講習会となった。松浦委員長からも今年度は時間内に全員仕上げまで行き、感心したとの講評があり、また、今後、東中西の各地区で更に講習会を行うことが発表された。



二十四年度技能検定実技試験に向けて、事前講習会が、六月二日(土)、三日(日)の二日間ポリテクセンター静岡で実施された。今年度の受講者は、一級十二名、二級四名で、昨年より四名増加した。

技能検定実技講習会

保証経営委員会開催

保証経営委員会が、7月13日(金)に静岡県総合社会福祉会館で開催され、井上理事長、金原委員長を始め17名が出席し、依然として厳しい経営環境の中、保証経営事業の現状と課題、今後の経営方針等について、活発な意見交換等が行われた。

1. 保証経営事業の現状

- 責任施工保証制度について、全日本建築板金保証センターの資料に基づき、現在の施工保証書の発行状況を確認し、本県板組の保証書発行状況は、他県に比べて多い方ではないが、今後も大幅な増加は望めない等の厳しい意見があった。
- また、責任施工保証制度の根幹に不安な部分があり、後ろ盾が必要であるとの見解から、保証の補完機能として全板連扱いのPL保険の有効性について委員から説明があり当制度との併用が望ましいとの方向性が示された。
- 事務局から、「責任施工保証制度」について、ステッカーを作製(1枚800円)したが、まだ多くの残枚数があるので、積極的に活用して欲しい旨の報告があった。

2. 今後の経営方針について (意見交換)

- 住宅リフォームについて、次の様な県の補助制度の実施状況を資料に基づき、事務局から説明した。
- 従来からある県産材型のリフォームに加えて今年度から65歳以上の高齢者住宅を対象とする高齢者型が追加され、板金業への適用範囲が広がったと思われる。
- また、県産材型は年間600件、高齢者型は1,700件の補助枠があり、6月末現在で、前者は118件後者は467件の申請状況にあり、まだ適用に余裕があるとの説明があった。
- 新築の板金工事が、板金業に直接来ることはまれであるが、リフォームについての注文は、4割くらいが板金業に直接来る場合があり、元請として手掛けることができるとの説明があった。

3. 坪当たり単価の算出について

- 坪当たり単価をどうやって精算するのか、坪当たりの積算明細は手に入るのか、との質問が委員から出され、副委員長から、以前、県板において坪当たりの算定方法を定めたことがあるとの説明があった。
- また、板金業従事者の日当については、全国規模の調査資料において記載されている内容を見ているが、県内の単価は、東部、中部、西部地区の順で低いように思える。
- 全国の単価表示では、九州が目立って低く、名古屋周辺もかなり低いようであり、西部地区は名古屋地域の単価の影響を強く受けているのではないかと、との見解が示された。
- このことについては、県板事務局において、過去の算定資料を調査するとともに、全国及び全県下の板金事業に関する標準単価を調査して、終了次第、当委員会に報告願うこととなった。

厚生労務委員会開催

厚生労務委員会が、6月15日に静岡県総合社会福祉会館で開催され、井上理事長、林委員長を始め18名の委員が出席し、労働災害対策等について、現場からの視点で幅広い問題について熱心な討議が行われた。

1. 安全パトロールの実施

建設業労働安全防止協会事業の安全パトロールについては、昨年に引続き東中西の各地区で実施することとし、実施時期は10月を予定している。

過去のパトロール実施の際指導した項目等について、足場の設置状況に伴う移行指導件数が一番多いことが確認された。

2. 労働災害防止対策

木造建築工事現場で、大工職人が安全帯を付けていないケースを多く見かけるが、仕事がやり難くても、ヘルメットと安全帯は必ず着用し、自分の身は自分で守るよう心掛けること。

近年、労働基準監督署の安全パトロール等における指導も大変厳しくなっているため留意する必要がある。

また、足場の設置について、平屋の樋工事の場合等、脚立での対応が多いが、万が一の事故発生を考え、施主の理解を得て足場を設置することが適切である。

3. 熱中症の予防

昨年も多くの熱中症が発症しており、7月から8月の高温多湿な時期がピークとなっている。個人差があるとは言え、屋外作業に従事する組合員にとって、万全の予防措置が必要であり、天候の急変に対する注意、作業の前後・作業中の水分・塩分の摂取、こまめな休息、涼しい休憩場所の設置、通気性の良い服装・ヘルメットの着用などが求められる。

また、長年の経験に基づく措置として、起床後にコップ一杯の常温の水を飲むことや、睡眠不足にならないこと等の実例が紹介された。

4. 全板連全国大会について

- 山梨大会について、85名の参加者の状況、経費の精算について報告があった。
- また、反省点として、帰路に一部コース変更をしたため、参加者を迎えに行った方とのすれ違いが生じ迷惑を掛けることになった。今後は途中でコース変更はしないこととする。
- 次回の65回北海道大会は25年5月16日(木)に旭川市で開催されるが、今後厚生労務委員会の役員が中心となって、2泊3日の予定でコースの選定、参加費用の算定等を検討していくこととしている。

欲しい物がここにある

鉄鋼二次製品 / 銅・アルミ・ステンレス / 化学製品
機械工具 / 住宅設備機器 / エンジン発電機・溶接機

さまざまなニーズにお応えします

西川鋼販株式会社

本社 / 〒437-1302 掛川市大淵9617

TEL 0537-48-3828(代)

FAX 0537-48-2644

ホームページアドレス <http://nishikawakouhan.com/>

見積精算はこれで安心

屋根・外壁見積精算ソフト

板金王® 瓦王® 外壁王®

業界初 レンタル契約で安心

¥6,300(税込)/月額

板金王® 瓦王® 外壁王® で商売繁盛

お求めは静岡県特約販売店10社へ

総発売元 **西川鋼販株式会社**

詳しくは当社ホームページでご確認ください。

鉄鋼二次製品・伸銅品・建材の総合卸
金属製屋根・壁材の加工販売

株式会社 小池弥太郎商店

本社・工場 〒420-0922 静岡市葵区流通センター16番

TEL054-263-2280

藤枝営業所 〒426-0041 藤枝市高柳2149-1

TEL054-636-4040

牧之原工場 〒421-0412 牧之原市坂部110-7

TEL0548-25-3975

東京事務所 〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町28

エクセル神田5B TEL03-5297-4840



トタン板・カラー鉄板・ナショナル雨とい
三晃式長尺瓦棒・三晃式折板構造

株式会社 釜慶商店

浜松市東区北島町760番地
電話 053-423-0007代 FAX.053-423-0010

金属定尺横貫屋根

セキノ S&S ルーフ

自由な施工性

「葺き方向」&「重ね代」を自由に
決められるため、腐材の削減に
つながります!

●本体形状

断面形状

断熱材

断熱材

断熱材

断熱材

断熱材

断熱材

断熱材

断熱材

断熱材

断熱材

●設計参考仕様

使用覆板名: 耐摩カラー / ニスカカラー

使用原板厚: 0.35mm

使用原板巾: 333mm

巻き巾: 220mm

巻き長さ: 1100mm・2100mm

屋根勾配: 25/100 (一般地域)

本体重量: 4.72kg/m²(2100mm)

断熱材: 標準

※色調については、専用の色見本板をご参照ください。

SEKINO **セキノ興産** 株式会社 セキノ興産
浜松店 ☎ (053) 440-3940
富士店 ☎ (0546) 37-0716